



# Mac 版 Cisco Jabber 12.8 リリース ノート

**First Published:** 2020-01-22

**Last Modified:** 2020-10-22

## Jabber エンドユーザのコンテンツ（Cisco Webex ヘルプセンター）

Jabber クライアントの使用に関する情報は、<https://help.webex.com/ld-n1uv5wq-CiscoJabber/Jabber> から確認できます。ヘルプセンターには、さまざまな Jabber 機能を使用するための記事があります。ヘルプセンターを使用して、個々の記事に関するフィードバックを提供したり、新しい記事を要求したりすることができます。

ヘルプセンターでの検索には、製品、リリース、アクティビティ、オペレーティングシステム、およびその他のカテゴリによって結果を絞り込むための一連のフィルターがあります。

### ビルド番号

Version	ビルド番号
12.8(4)	12.8.4.304226
12.8(3)	12.8.3.303943
12.8(2)	12.8.2.302955
12.8(1)	12.8.1.302494
12.8	12.8.0.301920

### DownloadURL

自動更新用 XML ファイルの DownloadURL ファイル要素は、次のとおりです。

リリース	File Name
12.8(4)	<a href="#">Install_Cisco-Jabber-Mac-12.8.4.304226-104043304-MCwCFAqEFRGtFFVv3vvSvgu5uMnffo4+AhR1ezHEPS5zPXwwMHfHk4RObTw9oYg!!_zip</a>
12.8(3)	<a href="#">Install_Cisco-Jabber-Mac-12.8.3.303934-104037296-MC0CFQCWUv5b62c6gtyo8qUDaJfRn8Tm+QIUPSBDWb+FbEwXhUfcx7GEwwavDoY!_zip</a>
12.8(2)	<a href="#">Install_Cisco-Jabber-Mac-12.8.2.302955-103628328-MCwCFAWT+J2Kw7be6k2oRie4vJk5ktklAhRqeqP7jbEQczONDtRplNBHhz7B3A!!_zip</a>
12.8(1)	<a href="#">Install_Cisco-Jabber-Mac-12.8.1.302494-103496141-MCwCFHQpjW_pS1KJfypGKamBGhtdhD96AhRoBmTZHpN+e72uill3PjW7HKwI_Q!!_zip</a>
12.8	<a href="#">Install_Cisco-Jabber-Mac-12.8.0.301920-104215537-MCwCFEgGeORDMaAA_GAmBlI63HuFXbDnAhOuS6vallDo00bmrTjR99TFjCGNw!!_zip</a>

DownloadURL ファイル要素は、Cisco Jabber for Mac インストール ファイルを参照します。更新サーバのインストールファイルの名前は、この DownloadURL ファイル要素の名前と一致するように変更する必要があります。

ユーザがクライアントを手動でインストールする場合は、手動インストール ファイルをダウンロードすることもできます。



**Note** DSA 署名を正常に完了させるには、特殊文字をエスケープするように Web サーバを設定します。たとえば、Microsoft IIS でのオプションは **Allow double spacing** です。

## リリースの新機能 12.8(4)

このメンテナンスリリースには、安定性の向上が含まれます。

### Jabber から Teams への移行ツール

#### 12.8(3) 以降でサポート

Jabber ユーザを Webex Teams に移行する場合、Jabber ユーザが連絡先と共通設定を移行するのに役立つ新しい組み込みツールを使用できます。このツールの設定方法については、「[Jabber の連絡先と共通設定を Webex Teams に移動するユーザの設定](#)」を参照してください。エンドユーザは、[連絡先の移動と Webex Teams への共通設定の読み取り](#)を通して、このツールの使い方を学習できます。

## リリースの新機能 12.8(3)

このメンテナンスリリースには、問題の更新が含まれています。

## リリースの新機能 12.8(2)

このメンテナンスリリースには、不具合の修正が含まれています。詳細については、「[警告](#)」のセクションを参照してください。

## リリースの新機能 12.8(1)

このメンテナンスリリースには、バグ修正のみが含まれています。詳細については、「[警告リスト](#)」を参照してください。

## リリース 12.8 の新機能

### H-264 高プロファイルサポート

H.264 コーデックのハイプロファイルのサポートが追加されました。ハイプロファイルでは、既にサポートされているベースラインプロファイルと同じビデオ品質を提供するため、使用される帯域幅が小さくなります。

デフォルトでは、Jabber はベースラインプロファイルを使用します。H264HighProfileEnable パラメータを使用すると、ハイプロファイルが有効になります。

### Microsoft Office 2019 サポート

Mac 版 Jabber の Microsoft Office 2019 デスクトップアプリケーション サポートを追加しました。

### コールパーク機能のサポート

デスクトップクライアントのコールパーク機能のサポートを開始しました。以前のリリースでは、モバイルクライアントでのみコールパークがサポートされました。

### マルチラインの各回線の着信音の分離

マルチラインサポートが強化され、ユーザは設定された各回線に異なる着信音を割り当てることができます。一部の回線からの音声通知を使用しない場合は、新しいサイレント着信音を割り当てることができます。

### コラボレーション ミーティンググループ コントロールの更新

このリリースには、いくつかの新しい CMR コントロールが含まれています。

ホストは、会議の録画の一時停止や再開ができます

すべての参加者が次の操作を実行できます。

- カメラを使用している参加者を [参加者リスト] で確認します。
- ミーティングのリンクをコピーします。
- 会議の詳細を表示するには、[ミーティング情報] アイコンを使用します。

### プレゼンス ステータス

[一般]設定に、プレゼンス情報の表示または非表示トグルを追加しました。ステータスの表示をオフにすると、ステータスは組織と共有されず、ステータスは表示されません。

### 音声デバイスの優先度

新しく登録された音声デバイスを最も高い優先順位に指定するか、現在の音声デバイスを引き続き使用するかを選択できます。この、各音声デバイスを初めて登録するオプションは、Jabber でのみ提供されます。そうでない場合、Jabber は、デバイスの優先度が一番高い利用可能なデバイスを使用します。

管理者は HeadsetPreference パラメータを使用して、この動作を指定します。デフォルトでは、新しく登録されたデバイスが優先順位リストの一番上に置かれます。ただし、ユーザごとに、音声設定でこのオプションを上書きできます。

### チームメッセージングモードのカスタム連絡先

Jabber チームメッセージモードの展開で、カスタム連絡先の作成、編集、および削除ができるようになりました。

既存のカスタム連絡先とカスタム連絡先グループを Jabber チームのメッセージモードの展開に移行します。移行では次のように動作します。

- 表示名のないカスタム連絡先は、移行されません。
- 共通アイデンティティ (CI) のユーザと一致する電子メールアドレスまたは電話番号を含むカスタム連絡先の場合、Jabber はカスタム連絡先を CI から通常の連絡先に変更します。連絡先にカスタマイズした情報は削除されます。

デスクトップクライアント上で作成したカスタム連絡先も、モバイルクライアントで使用できません。ただし、モバイルクライアントからカスタム連絡先を作成、編集、または削除することはできません。

### Cisco ヘッドセットの新サポート

Cisco ヘッドセット 730 シリーズの新しいサポートが追加されました。

[詳細設定] ダイアログには、一部の Cisco ヘッドセットに固有の設定が動的に設定されています。詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/headset-700-series/index.html> を参照してください。

### 送信されたボイスメッセージの表示

送信されたボイスメッセージを Jabber ボイスメールボックスに表示する機能が追加されました。

この機能を有効にするには、管理者が **Cisco Unity Connection 管理のメッセージ設定** ページで、**送信済みメッセージ [保持期間 (日数)]** を設定する必要があります。

### Webex Control Hub での Jabber 分析



#### Note

このリリースノートでは、Jabber の展開に影響を与える Webex Control Hub の新機能について説明しています。これは Control Hub の変更なので、どのような Jabber のリリースでもこの機能にアクセスできます。

導入環境で Webex Control Hub が設定されている場合は、コントロールハブを介して Jabber 分析にアクセスできます。この機能は、次の展開モードで使用できます。

- オンプレミスと完全な UC
- オンプレミスの IM のみ
- オンプレミスの電話専用
- Jabber と Webex Messenger

Jabber 分析では、次のような、重要なパフォーマンス指標 (傾向含む) を提供します。

- アクティブ ユーザ
- メッセージが送信されました
- Jabber で作成または受信した通話
- Jabber のスクリーン共有

詳細については、*Cisco Jabber* の機能設定ガイドを参照してください。

## 要件

### Cisco Jabber 要件

多くの Cisco Jabber 要件は複数のクライアントタイプ間で共通です。クライアント固有の要件はリリースノートに文書化されていて、他のすべての要件は *Cisco Jabber* 用プランニングガイドに文書化されています。

### Mac 版 Cisco Jabber のオペレーティング システム

Mac 版 Cisco Jabber は、次のオペレーティング システムへインストール可能です。

- macOS Org.apache.catalina 10.15 (またはそれ以降)
- macOS Mojave 10.14 (またはそれ以降)
- macOS High Sierra 10.13 (またはそれ以降)
- macOS Sierra 10.12 (またはそれ以降)

### デスクトップクライアントのハードウェア要件

要件	Windows 版 Cisco Jabber	Mac 版 Cisco Jabber
搭載されている RAM	2 GB RAM	2 GB RAM
物理メモリの空き容量	128 MB	1 GB
ディスクの空き容量	256 MB	300 MB

要件	Windows 版 Cisco Jabber	Mac 版 Cisco Jabber
CPU の速度およびタイプ	AMD モバイル Sempron プロセッサ 3600+ (2 GHz) Intel Core 2 Duo プロセッサ T7400 @ 2 (16 GHz)	Intel Core 2 Duo もしくはそれ以降の次のいずれの Apple ハードウェアのプロセッサ <ul style="list-style-type: none"> <li>• iMac Pro</li> <li>• MacBook Pro (Retina Display モデルを含む)</li> <li>• MacBook</li> <li>• MacBook Air</li> <li>• iMac</li> <li>• Mac Mini</li> </ul>
GPU	Microsoft Windows 7 上の DirectX11	該当なし
I/O ポート	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

## CTI でサポートされるデバイス

ユニファイドコミュニケーションマネージャで、コンピュータテレフォニーインテグレーション (CTI) でサポートされているデバイスのリストを表示するには、次のようにします。

1. シスコのユニファイドレポーティングページから、[システム レポート (System Reports)] メニューから [ユニファイド CM 電話機能リスト (ユニファイ CM Phone Feature List)] を選択します。
2. レポートを開いた後、[機能] ドロップダウンリストから [CTI制御(CTI controlled)] を選択します。

## 制限事項と制約事項

### シングルナンバー リーチ

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよび Remote Access で Cisco Jabber を使用するユーザー向けにシングルナンバーリーチを有効にする必要があります。詳細については、*Cisco Jabber 12.0* の機能構成ガイドのシングルナンバーリーチの有効化のセクションで制限を参照してください。

### チャットを Microsoft Outlook に保存

Outlook 2016 を使用すると、Outlook はチャットで送信された画像を保存しません。ただし、Outlook では、チャットに絵文字が保存されます。

## アップグレード後のオーディオ デバイスの設定

ユーザーがクライアントをアップグレードすると、選択しているオーディオデバイスのリセットが発生します。この問題を解決するには、**[オーディオ/ビデオ設定]** ウィンドウでオーディオデバイスを設定します。CSCva48136 はこの制限を文書に記載しています。

## ウイルス対策

アンチウイルス ソフトウェアを導入しているデバイス上の Cisco Unity Connection にクライアントが接続すると、ボイスメール接続で問題が発生する可能性があります。この問題を解決するには、アンチウイルス ソフトウェアの例外リストに Cisco Unity Connection サーバー情報を追加します。

## 共通アイデンティティ ユーザ

共通アイデンティティに移行した一部のユーザの Cisco Jabber へのサインインに関して既知の問題があります。ユーザ名とパスワードの入力時に、不正なユーザ名またはパスワードという旨のエラーメッセージが表示される場合、以下のナレッジ ベースの項目を参照してください。

[https://cisco-support.webex.com/guest/articles/en\\_US/Troubleshooting/WBX000019555/myr=false](https://cisco-support.webex.com/guest/articles/en_US/Troubleshooting/WBX000019555/myr=false)

## Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 でユーザ用のデバイスを設定しているときに、次のいずれかのようにキーの順序を指定できるようになりました。

- [RSA Only]
- [EC Only]
- [EC Preferred, RSA Backup]

ただし、Cisco Jabber は **EC Only** のオプションをサポートしていません。これを選択すると、クライアントはサーバへの接続に失敗します。

## CTI の接続のための証明書の検証

Cisco Jabber は、CTI 接続に証明書の検証を使用します。証明書の署名には、パブリック CA、またはプライベート CA の使用をお勧めします。

自己署名証明書を使用して Cisco Unified Communications Manager に接続すると証明書検証で障害が発生します。この問題を解決するには次のいずれかを行います。

- 最初の証明書検証で失敗したときに無効な Cisco Unified Communications Manager の自己署名証明書をユーザが承認すると、Cisco Jabber が信頼ストアにこの証明書を保存します。
- 証明書導入管理アプリケーションを使用して、証明書をデプロイします。

## Expressway Mobile and Remote Access

Expressway for Mobile and Remote Access 展開の場合、オンライン証明書ステータス プロトコル (OCSP) またはオンライン証明書失効リスト (CRL) を使用して証明書ステータスを確認すると

き、Cisco Jabberが5秒未満の応答時間が予想します。接続は、応答時間が5秒を超えた場合、失敗します。

#### オーディオまたはビデオ通話での Cisco Jabber を使用時のネットワーク切断

DSCPが有効な場合、Mac OSでネットワーク インターフェイスのドロップが断続的に発生するという既知の問題があります。

この問題に遭遇した場合は、次の操作を実行します。

1. [Preferences] > [Calls] > [Advanced] を選択します。
2. [Enable Differentiated Service for Calls] のチェックを外します。

#### Standard CTI Secure Connection ユーザ グループ

Mac 版 Cisco Jabber では、現在、Transport Layer Security (TLS) 経由での CTI 接続をサポートしていません。そのため、Mac 版 Cisco Jabber ユーザは、Standard CTI Secure Connection ユーザグループに属するときに、CSF デバイスからデスクフォンに切り替えられなくなります。

#### エンタープライズ グループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に1つずつ解決します。エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに追加するか、または自分のローカルキャッシュをクリアすると、最初は各ユーザのユーザ名とドメインのみが表示されます。その他の情報は、次にマウス オーバーするか、人と対話するときに表示されます。

## 注意

警告では予期しない動作について説明します。次の各項では、最新情報の取得方法について説明します。

## バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

### Procedure

- 
- Step 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search>をクリックします。
  - Step 2** 自分の Cisco.com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
  - Step 3** 特定の問題の情報を検索するには、[検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力して Enter を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
-

## バグの重大度レベル

既知の不具合またはバグには、不具合の優先度を示す重大度レベルが設定されています。これらのリリースノートには次のバグタイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重大度レベル 3 の重要なバグ
- 重大度レベル 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべてのバグ

重要度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策があります。  ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

### リリース 12.8(3) で解決済みの問題

Identifier	重大度	見出し
<a href="#">CSCvu89568</a>	3	すべての SIP URI パターンを受け付けない Mac 版 Jabber
<a href="#">CSCvv06604</a>	3	Jabber のチャットは、OS の設定に関係なく 24 時間表示で時間が表示されます

## リリース 12.8(2) で解決済みの問題

Identifier	重大度	見出し
<a href="#">CSCvu00490</a>	3	Jabber 12.8.1 および 12.8.2 は、MRA 経由で電話サービスを取得できません。
<a href="#">CSCvu00496</a>	3	Jabber Mac はアクティブなコールカウントをクリアしないため、CUCM は、486 を使用してさらなるコールを拒否します。

## リリース 12.8(1) の終了済みの問題

Identifier	重大度	見出し
<a href="#">CSCvq52820</a>	3	MAC OS Mojave および Catalina の高 CPU を使用する Jabber プロセス

## リリース 12.8 で未解決の問題

Identifier	重大度	見出し
<a href="#">CSCvs58600</a>	3	ホストを割り当てた後、CMR 会議の [すべてミュート] オプションが機能しない

## リリース 12.8 で解決済みの問題

Identifier	重大度	見出し
<a href="#">CSCvs48285</a>	3	Jabber は、コード CONNECTION_TIMEOUT_ERROR に関する問題があったユーザー一括クエリの再試行を停止しない。
<a href="#">CSCvr12551</a>	3	Jabber は、MRA を介したフェールオーバー シナリオのアクセス トークンを更新しない
<a href="#">CSCvr39510</a>	3	IM が無効になっている場合、Jabber は会話を開始するオプションをマスクする必要があります。
<a href="#">CSCvr42550</a>	3	[Jabber に参加] オプションが選択されているときに、[ミーティングの開始] でパーソナル会議室にダイヤルされる
<a href="#">CSCvr44644</a>	3	UK のキーボードの # (オプションキー + 3) を押した際、Mac 向けの Jabber 12.6.1/12.7 がクラッシュした
<a href="#">CSCvr52618</a>	3	[Jabber 12.7 ミーティング] を表示しても、ハイパーリンクとして表示される。

Identifier	重大度	見出し
<a href="#">CSCvr82895</a>	3	ユーザ ID が [再招待] で変更された場合、MAC 版 Jabber は BFCP を認証できない
<a href="#">CSCvr87405</a>	3	[画面の共有] アイコン上にマウスを移動すると、[画面の共有] ボタンのタグに [ミーティングの開始] と表示される
<a href="#">CSCvr88304</a>	3	Mac Catalina Version 10.15 の最初のインスタンスで Jabber 12.7 の画面を共有できない
<a href="#">CSCvs05055</a>	3	リセットの実行時に MAC 版 Jabber がクラッシュする
<a href="#">CSCvs06450</a>	3	MAC 版 Jabber を従来型から最新型のスタイルに切り替えたときに、チャット履歴リストを読み込まない
<a href="#">CSCvs09317</a>	3	Jabber ミーティング (MAC) からの招待をクリックするとエラーが発生する
<a href="#">CSCvs18528</a>	3	Jabber MAC で従来型 UXModel のパラメータが適用されていない
<a href="#">CSCvs39539</a>	3	MAC Abber 設定で IM アカウントの設定に変更を加えるときにログアウトされる jaber の IM 12 IM サービス
<a href="#">CSCvs51098</a>	4	Jabber 12.7.1 MAC で、プリロードパラメータが true に設定されている場合、通知バッジがロードされない

